

## 見積仕様書（案）

## 第 2 章 業務内容

## 第 1 節 目的

サブボトムプロファイラ※（以下、「SBP」と言う）をダム貯水池に適用するにあたり調査実績が豊富にある海域調査と異なる特徴（ダム堤体・周辺地山斜面からの干渉波の影響、調査時水深が相対的に浅い、流入土砂が狭い範囲に複雑に堆積など）を考慮して、ダム貯水池における具体的な SBP の活用方法について整理検討するものである。

※SBP；低周波の音波を海底等に向けて発信し、その反射波を解析して地層構造（断面図）を可視化する音響探査装置・手法。

## 第 2 節 サブボトムプロファイラ（SBP）の具体的な活用方法についての整理検討

## 2-1 資料収集

ダム貯水池内の堆積土砂を直接採取する方法（以下、「直接試料採取方法」という。）及びポンプ浚渫の施工実績（最大粒径、適用水深）に関する資料収集を行うものとする。

## 2-2 サブボトムプロファイラの適用範囲整理

ダム貯水池調査における SBP 機種を選定時の留意点等を整理する。

また、機構から貸与するダム貯水池での SBP 調査結果をもとにダム堤体や周辺地山斜面などから受ける干渉波の影響範囲等を整理しダム貯水池で SBP を活用する際の留意点を整理検討するものである。

## 2-3 サブボトムプロファイラと直接試料採取方法の手法検討

調査時の水深が比較的浅い場合に適用可能な直接試料採取方法と SBP の併用可能な組み合わせを整理し、調査時の水深、対象土質などに着目して最適な組み合わせについて整理検討するものである。

## 2-4 具体的な調査計画の立案

具体的なダム貯水池を想定して 2-2 及び 2-3 で整理検討した結果を基に調査計画の立案を行うものである。なお、調査計画の立案にあたっては、詳細な調査手順及び概算金額の整理も含めるものとする。

#### 2-5 異物検知能力の整理

船舶の航行速度や調査時の水深等に着目して SBP のカタログなどから理論上可能な流木・粒径の大きい玉石等の異物検知能力の整理を行うものとする。

#### 2-6 現地調査時の検知精度の整理検討

機構から貸与するダム貯水池で実施した異物確認調査結果と 2-5 で整理した結果を比較検討し、実際現地調査で把握可能な異物の大きさ等を明らかにする。

#### 2-7 活用方法に関する報告書作成

本節で整理検討した結果及び今後確認すべき事項を整理し報告書として取りまとめるものとする。なお、報告書作成にあたっては、ダム管理者への説明用の資料作成も含めるものとする。

－ 以 上 －